

Lina LOHAS通信



最近の女性誌はロハス・ライフ ファッションも、モードも“エコ”

北イタリアのフィレンツェに旅をする女性のほとんどが、必ず寄ってみたいと言われる薬局、サンタ・マリア・ノヴェッラ (Santa Maria Novella) の起源は、13世紀初めにさかのぼります。なんと、800年もの歴史ある世界最古の薬局として、現在も、世界中から愛用者・旅行者が多く訪れる名所にもなっています。お土産にお手軽ということもあり、歯磨き粉のお土産をいただいた方も沢山おられると思います(といっても、容器は昔ながらのアルミチューブで、最後にはくしゃくしゃになってしまい、使いにくさがあります・・・)。私渡辺も、イタリア・アルプスのソルーナ農園を訪ねた後、3年あけて2度ほどこの薬局に買い物に行きました。店内も重厚な感じです。

もとをたどれば、修道士たちが修道院の庭で薬草を栽培しながら、病む人の介護を始め、その薬草のリキュールやハーブ軟膏などを作っていて、それらの商品はイタリアのみならず、欧州各地の王侯貴族などに大変人気となり、ルネッサンス時代には、メディチ家から御用達の称号を受け、隆盛を極めていったそうです。

そんな王侯貴族しか使えなかったような商品の数々を、今では誰もが生活の中で使用できるのです。何と幸せなことでしょう！日本にも何年か前、サンタ・マリア・ノヴェッラ銀座がオープンし、身近でこの800年受け継がれている処方のおデオロン、ハーブウォーター、ヘアケア商品など、手に触れることができます。

当店で、トリートメントに使用し、商品販売してホームケアにおすすめしているオイル、化粧品等も、200年・100年と歴史を持っている商品ばかりです。石油化学合成で化粧品が作られる以前の何世紀か前には、スキンケアの原点は花やハーブを蒸留したり、油脂に浸した植物油など、今でいうボタニカルコスメだったわけです。

最近、ロハス的生活を支持する人々が本当に増えてきましたね。食生活においても、ナチュラルフーズが求められ、無農薬・有機栽培の野菜や米を作っている生産者もずいぶん増えてきました。塩・味噌・醤油・油...と、いろいろな素材にも、化学合成された防腐剤や香料等を避けて、自然素材を求める人々も増えていきます。皮膚に乗せる化粧品ももちろんですが、体内に入る食物の素材にこだわることは、第一番に大切なことに違いありません。

天然成分のみで作られているボタニカルコスメの魅力として、普通の化粧品とどこが違うのかといいますと、なにより香りが違います。バラ・ラベンダーなど、天然成分のみの場合、えぐみや青臭いような香りがあります。慣れてしまえば、香りに奥行きがあり大変わりがたいリラックス感を味わえるのですが、化学合成された普通の化粧品との大きな違いは、植物から抽出されたエキスには、実は数え切れないほどの微量成分が組み合わせられ、それぞれが調和したり助け合ったりして、複合的に作用します。使う人の肌によって、同じ化粧品が違う効用を感じさせることも多々あります。複数の悩みが混合する成熟肌には、この多面的な効用がとてつもなく利点になります。

参考資料 ミセス6月号

最近の女性誌「ミセス」「エル・ジャポン」「クロワッサン」...と、次々に、ナチュラル・エコ・ボタニカル等と、地球に優しい衣食住を特集するものが多く、私たち女性にとって大変参考になります。ナチュラルライフ・ロハス的生活への希望が高まってきますね！



Lina Green
TEL 054 205-0308
HP <http://www.linagreen.com/>

